

## インターバンクの声（2016年3月14日）

前日、欧州中央銀行（ECB）理事会後のドラギ総裁の発言に反応したユーロの値動きは異常とも言えるほどだったが、金曜日には前日からユーロに追随するかのようによく上昇していた豪ドルがニューヨーク市場で急上昇を見せた。アジア時間の日中に発表されていた中国人民元の対ドル基準値が年初来高値に設定されていたことに加え、ニューヨーク時間になって国際エネルギー機関（IEA）月報が原油価格の底打ちの可能性を指摘していることが分かったことで追い風になっていたようだ。こうした展開になると直ぐに「リスク投資意欲の回復」と言われ始める。確かに欧米の株価も揃って大幅な上昇にもなっているが、今週は米連邦公開市場委員会（FOMC）、日銀金融政策決定会合、さらにはイングランド銀行（BOE）の金融政策委員会の開催も予定されており油断は出来ない。米FOMCと日銀会合は、現状維持を決定するにしろ新たな施策判断を出すにしろ、どちらにしても市場が難癖をつけてくる可能性もある。ただ、当初は反応薄に見えた原油価格の回復傾向に対する市場の反応がはっきりして来ていることには先行きに期待感が持てる。

---

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。